

## 公開文書

令和4年6月6日

(臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

また本研究は観察研究であり、研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施されます。研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること(オプトアウト)により実施します。

通知の方法は国立病院機構水戸医療センターのホームページに掲載または病院内に掲示することで行います。

**【研究課題名】** 手関節周辺疾患に対する造影ダイナミックMRIの有用性に関する研究

**【研究責任者】** 水戸医療センター 医師 小川 健

**【研究の概要】** 手関節痛の症状を呈する疾患は多岐にわたり、その診断にはしばしばMRIが用いられます。手根骨の血流障害が原因となる月状骨壊死(キーンベック病)の頻度は0.27%と報告されていますが、鑑別すべき手関節周辺疾患(TFCG損傷、舟状骨骨折や偽関節、関節リウマチ等の膠原病など)を合わせるとかなり多くの方が、手関節の痛みで困っていることが容易に想像されます。上記以外にも、鑑別すべき手関節周辺疾患は数多く存在します。本研究の目的は、造影ダイナミックMRIによる手関節周辺疾患の診断における有用性を評価し、鑑別診断の方法や治療効果判定の方法を確立することです。

**【個人情報の取扱い】** 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**【試料・情報の項目】** MRI検査で測定した項目

一般事項(年齢・性別など)

身体機能的評価(疼痛VAS、握力、ピンチ力、手関節可動域など)

患者立脚型機能評価(Quick DASH、HAND 20)

**【利用する者の範囲】** 水戸医療センター 整形外科 所属医師

**【試料・情報の管理について責任を有する者の氏名】** 水戸医療センター 整形外科 小川 健

**【問い合わせ先】**

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承ください。この場合には研究対象とさせていただきます。2022年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

国立病院機構水戸医療センター 整形外科 小川 健

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788 1)